

農林水産大臣  
宮下 一郎 様

大阪よどがわ市民生活協同組合 理事会

## “笑顔ひろがる豊かなくらし”のために日本の農業生産を大切に

わたしたちよどがわ市民生協がめざす“笑顔ひろがる豊かなくらし”には安心して食べられることが欠かせません。しかし世界では、食料を利益最優先に扱うことや膨大な量が廃棄される現状があり、世界人口78億人の約9%が飢餓に苦しんでいます。日本でも食事が十分に摂れない人が多く、農業は担い手が激減する危機に直面しています。今こそ、誰ひとり取り残さない食料の安定供給、日本の食料・農業・農村を大切に発展させることが必要です。食料・農業・農村基本法の改定にあたり私たちの意見を伝えます。

### 1. 食料の安定確保について

様々な事情を抱え、健康な体と心のための食事が摂れない人もいます。国産食料の有効活用を中心に、誰ひとり取り残さず、笑顔で食事ができてこそ、真の食料の安定供給であり、そのための施策を求めます。

食料安定確保の基礎は国内生産を高めることです。100%自給可能な米を大切に、国内需要が高く輸入依存度の高い小麦・大豆や畜産飼料の国産化も進める必要があります。カロリーベースや品目別自給率など総合的に国内自給率を高める目標設定を、日本の農業を支える家族農業が持続可能となる施策を求めます。また、食品ロスの削減やリサイクルが強まる施策が必要です。

ロシア軍によるウクライナ軍事侵攻は世界の食料価格の高騰を招き、飢餓をより深刻にしました。食料の安定供給のためにも、不戦を誓った憲法9条を生かし平和を大切にすることが必要です。

### 2. 農業の多面的機能の発揮について

農業には食料生産、経済効果のみならず自然環境保護や生態系の維持など多面的な機能があることを再認識した上で、持続可能な食料・農業システムを追求する施策が必要です。また国内資源を最大限活用した環境負荷の少ない循環型農業をすすめ、都市の消費者や若者が農業に触れ農業を知る機会を増やし多様な働く人々の人権尊重についても大切にすることを求めます。

### 3. 農業の持続的な発展について

食料は、人の生命維持や健康で文化的な生活に欠かせないものであり、その生産を維持・発展するためには生産者が経済的にも再生産できる施策が必要です。そのために、市場の価格形成だけに依存するのではなく、生産者への直接支払いによる所得補償で支えること、頻発する自然災害時の迅速な復旧支援や補償を求めます。それが消費者の購入しやすい価格、誰ひとり取り残さない食料確保のための支援にもつながります。

### 4. 農村の振興について

農村は、農地や水資源の管理に加え、景観・伝統・文化を保護する役割を担っています。離農に歯止めをかけ、新規就農者が増える農村振興策を求めます。食料自給率が僅か1%の大阪にも農村・農地を守り活用しようと努力する人たちがいます。私たちが住む北摂でも都市の消費者が農業に触れる機会を増やすことが必要です。

私たちよどがわ市民生協も消費者が農業に接し知る機会を大切にします。農林水産省にも生産者と消費者が交流しお互いの理解を深める施策を、食の安全に不安を抱える消費者が安心して購入できる安全確保と情報提供などの施策を求めます。

以上